

# 各地区の神社



## 「曾根神社」

十月九日(日)宮入り  
午前9時~午前11時まで  
【宮入り町】  
北宮根 南宮根 池上町  
三田町 千原町 森町



## 「助松神社」

十月九日(日)宮入り  
午前9時半~午前11時まで  
【宮入り町】  
助松町



## 「泉穴師神社」

十月九日(日)宮入り  
午後0時20分~午後2時まで  
【宮入り町】  
豊中町 池浦町  
我孫子 板原町

泉穴師神社の秋祭季節に祭典で行われる地車は五百石であり、そのうち四百石が宮入をします。  
地車宮出後は渡御列ができるほどとなり、飯の山車、御輿、天狗、獅子舞、神楽舞は全員袴を着用し、御旅所までの道のりに秋の気配を感じながら祭り情緒を掻き立てます。  
白鳳元年(672)の創建と伝えられます。神社から海岸まで、まっすぐな道のびており、古代に栄えた港(小津の泊)となつた地域の有力な神社であったと考えられています。中世には和泉五社の第三社として勢力を誇りましたが、室町時代末期に衰退しました。江戸時代には領主である大和(小泉藩)の庇護を受けています。  
祭神は天照大神(あまのひかりのみこと)、糟糠子(なまこ)命、たぐはらちひめのみこと)です。特に糟糠子(なまこ)命は織物の神であることから、織産業の盛んな泉大津市では、厚い信仰を集めています。  
本殿は住吉神社系、祀神は春日神社本殿は重要文化財に指定されています。なかでも住吉神社本殿は文永10年(1173)の建立で、府内最古の神社建築といわれています。本殿および摂社春日神社本殿は寛政7年(1602)に豊田家頼が片桐氏を奉行として改築を行ったものです。片桐、豊長領の建立で、その前に建つ二基の石鳥居とも、市指定有形文化財です。  
天正三年(1575)十月二十日には、織田信長公の社領安堵の御朱印状や、元弘元年(1331)の摂津領の守護であった楠正成が奉兵するに当たり、国家安堵を長官として祈願し、泉穴師神社に石燈籠、基を寄進したことが、武家からの崇拝が厚かたき事が伺えます。また住吉より東の虫討に於いては、泉穴師神社の御朱印が、泉穴師神社に石燈籠、基を寄進したことが、天守の昔がその起源と伝えられる。飯の山車神事でも、現在宮本である豊中町が今に伝えています。

北宮根 南宮根 池上町 二田町 千原町 森町 6町の地車が宮入を行い、境内では各町の青年團によるさまざまなセレモニーが展開され、観衆とともに祭りムードも高鳴るひとときを是非楽しんで下さい。  
本地はその名(高鳴)の不通り、曾根氏の居住地であったと考えられます。曾根氏は新撰姓氏録によれば、和泉郡神別に「曾根連 神饗連(命)六世孫伊香我孫命の後也」とあります。そして饗連(命)が文獻に登場して火の神の日本書紀第三の序文の神武天皇(東征の物語)の中に、天津彦彦火瓊杵尊の天孫降臨の話(天照大神の命)より八坂瓊の曲玉・八咫鏡、草薙劍の三種の神器を持って、高千穂に天降った事、以前に饗連(命)が、天孫に乗って飛び降りたことあります。これが古から天皇に従い、大和朝廷に於いて有力な地位を占める事になる。「物部氏をして物部氏族の曾根連」の先祖であります。

本宮には助松町の地車が宮入を行い、秋祭りの季節をより一層深めます。南海本線北助松駅前にある神社で、氏神さまとして親しまれています。創建されたのは約二百年前と推測されています。以後、寛政年間(菅原道真公を合祀) 吉野朝時代に相泉野の合戦で、この神社の守護を得た武將の子孫が後に神職を建造したといわれています。明治から昭和にかけては、有志による数々の努力で官有地の払い下げを受け、平成二年には玉垣の立て替え、平成十年には大鳥居の立て替え並びに境内の大改修工事を行い、平成十三年には菅原道真公千年大祭奉祝行事として本殿・幣殿・拝殿の大改修工事を行い、現在にいたっています。

# 豊中町

とよなかぢょう  
元郷地区



豊中町地車は、平成二十六年、常陸の国の樹齢約三百五十年の樺を用い、木工棟梁大下孝治・彫物請負三代目下健司両匠の手に委ねられ平成二十九年に完成。地車加工は、復原根地配筋高木造り・蛇腹立輪造り・通視型立体彫刻拵合、五層構造の見送り下拵合等々革新的な加工を随所に施し、且つ組物には硝子加工を施した豪華な加工である。また地車の姿見は、温故の切妻地車の如く威風堂々としたものである。彫刻に至っては、「三代目下健司作」と銘打つ初地車で、初代舟次郎より脈々と受け継がれる運動感に加え、黒田本流正勝師直伝の鉄間彫刻を基に、三代目健司独自の技法を加味し彫り上げた正面土呂幕【一閃日本流 後藤又兵衛(半田寺山)】は豪快且つ繊細な造品であり、それ以外の彫刻も木下一門が細部に至るまで全霊を注いだ驚心動魄たるものである。その他にも、八十余年の伝統を誇る甲冑刀鍛冶鈴木明彦五十二代目当主宗理師が町町の為特別に鍛えた力鉄や、実物の日本製の本漆細加工を模し、輪島の漆職人が再現させた漆塗の土呂幕の他にも顔を見ない特筆すべきものである。豊中町地車は、各々の匠がその持つ技術を結集させた他に類を見ない、正に唯一無二の地車である。

## 【代表者紹介】

- 総務責任者 辻川 正人
- 奥付責任者 城村 伸夫
- 若奥付責任者 八木 勇司
- 三人組組長 河田 健治
- 青年團團長 白井 太一

鎮座 千三百五十年  
**泉穴師神社**  
泉大津市豊中町1丁目1番1号  
☎0725-32-2610

新車・中古車・販売・保険  
車検・修理・板金塗装一式  
**ウエダ カーサービス**  
〒595-0023 泉大津市豊中町1丁目20-4  
TEL・FAX (0725) 23-2407

東京海上日動火災保険株式会社 代理店  
新車・中古車販売、保険事故修理依頼・レンタカー  
車検・整備・コーティング一式・各種損害保険取扱  
**ユアオート**  
〒595-0002 泉大津市豊中町2-2-2  
TEL 072-443-5556 FAX 072-443-9736  
E-mail yuauto@yuauto.co.jp

総合建設業  
**株式会社 ドラール**  
代表取締役 武内 博行  
〒595-0023 大阪府泉大津市豊中町3丁目2番19号  
TEL(0725)33-3332

総合建設業  
**大昇建設株式会社**  
取締役 紀之岡 健一  
〒595-0021 大阪府泉大津市東豊中町2-3-2  
TEL(0725)45-2251  
FAX(0725)45-2547

不動産業務全般  
**共立産業株式会社**  
代表取締役 紀之岡 健一  
〒595-0021 泉大津市東豊中町2-3-2  
TEL(0725)45-2250(代)  
FAX(0725)45-2547

**辻川産業株式会社**  
代表取締役 辻川 佳明  
和泉市唐園町472番地  
☎(0725)54-1670

株式会社 マエダ  
取締役 中辻 康友  
〒590-0017 大阪府泉大津市1195-1  
TEL 072-3330-0400  
FAX 072-3330-0401  
☎ 0120-030-3659  
URL http://www.maeda-auto.co.jp  
E-mail nakatsuj@maeda-auto.co.jp

和洋酒・ビール  
立呑居酒屋 **和(やわらぎ)**  
オカジマヤ(府中店)  
泉大津市豊中町3-14-28  
☎(0725)22-5571

体育器具・一般スポーツ用品 各種マーケティング  
有限会社 **ナカムラスポーツ**  
〒595-0021 大阪府泉大津市東豊中町1-10-11  
TEL(0725)41-8722 FAX(0725)41-6022

相模料理  
**两国**  
泉大津市北豊中町1丁目2-5  
☎(0725)22-2469

株式会社 **北野エポック**  
〒594-0002 大阪府泉大津市上町639  
電話: 0725-47-0033  
FAX: 0725-47-0055

各種ご宴会ご予約承ります  
**公式LINE**  
泉大津市豊中町16-4ツランビル101号  
TEL 0725-32-5665

Only わん  
〒595-0012 泉大津市北豊中町3-5-18  
TEL 0725-38-8090  
http://onlywan2009.com

児童発達支援・放課後等デイサービス  
**よはすの家・つぼみ**  
〒595-0013 大阪府泉大津市豊中町17-20-19  
TEL 0725-31-3100 FAX 0725-31-3300

株式会社 **NAKAUE**  
代表取締役 竹内 朋毅  
〒584-0032 大阪府岸和田市大野原1571番地  
TEL 0723-35-2868 FAX 0723-35-7745

営業時間  
**DOLU DORU** 本店  
20時~ラスト  
DOLU DORU カラオケ  
21時~ラスト  
TEL 0725-33-0077

株式会社 **Y's Tech**  
代表取締役 八木 好洋  
〒595-0023 大阪府泉大津市豊中町1丁目1番1号  
TEL 0725-32-5665 FAX 0725-32-3868

代表取締役 竹内 朋毅  
株式会社 **FURCEED**  
〒596-0011 大阪府岸和田市大野原1571番地  
TEL 0725-31-3100 FAX 0725-31-3300